



この道は、もう何回行き来しただろうか。  
上高地へ帰って来れなかった後輩を思いながら行く。  
ジャンの飛騨尾根に消えたK君。屏風ノ頭に眠るY君。  
遠い日が蘇って切ない。  
傍らの岩場に差し込んだ光は、遠い彼方から届いてきたように思えた。

徳沢への道で